

第12回 五霞町青少年の主張大会



主張発表した皆さん



第12回五霞町青少年の主張大会が「いばらき教育の日」である11月1日、五霞中央公民館講堂において盛大に開催されました。

当日は、町長をはじめ町議会議員、教育委員、各小中学校のPTA会長、社会教育委員、民生委員など多数の来賓や一般の方が出席する中、各小中学校から選抜された10名の児童生徒が日々の体験や将来の希望などを力強く発表しました。

各種の受賞者は次のとおりです。

《受賞者名》

(敬称略)

五霞町青少年問題協議会会長賞
五霞中学校1年 鶴田 佳伽

五霞町議会会議長賞
五霞西小学校6年 海老沼友稀

五霞町教育委員会教育長賞
五霞中学校3年 堀 千鶴

青少年育成五霞町民会議会長賞
五霞中学校1年 栗原 仁

五霞町青少年相談員協議会会長賞
五霞東小学校5年 須釜 瑠美

優秀賞

五霞西小学校5年 石川 慎笑

五霞西小学校6年 中島 愛理

五霞中学校2年 庭川 榛奈

五霞中学校2年 石塚 雄隆

五霞中学校3年 須釜 由望

私の夢

五霞中学校 1年 鶴田 佳伽

私の将来の夢は、看護師になる事です。私は、小学校3年生の時、扁桃腺を取る手術をしました。初めての手術なのでドキドキしていたことを覚えています。病院は24時間完全看護のため、夜には父母が家へ帰ってしまい、夜には不安はよりいっそう高まりました。泣きそうな私を見て、そばにいた看護師さんが優しい笑顔で声を掛けてくれました。

「大丈夫？心配しなくても大丈夫だよ。手術中は寝てるから痛くないんだよ。だから安心してね。何かあったら、ナースコールで呼んでね。」と。

父や母でもない人からの励まし。初めて会う看護師さんのその言葉が、とても優しく温かく感じられました。その晩、おかげで私は不安な気持ちに打ち勝って眠ることができました。

この時からです。私の心の中に、看護師という職業が大きな位置を占めるようになったのは、私の母も看護師です。母は、朝早くから夜遅くまで病院で働いています。私は小学校4年生

の時、木登りをしていて、落ちてしまいました。偶然、母が働いている病院に運ばれると、そこには疲れた顔を少しも見せずに、笑顔で働く母の姿がありました。家では見たことのない、りんとした厳しさと優しさを秘めた看護師としての母の姿が。その瞬間ある言葉を思い出しました。「白衣の天使」。これは看護師の母といわれる、フロアレスナイチンゲールをたとえた言葉です。今まさに、母が白衣の天使そのものに見えたのです。私に気づいた母は、すぐに私のもとに駆け寄ってきてくれました。

「大丈夫？すぐに見てあげるから待っていてね。」

きびきびとした動作で病院内を行ったり来たりしていたさつきまでの母とは違う、私の知っているいつもの優しい母のまなざしがそこにありました。そしてすぐに診察室に案内してくれ、レントゲンを撮る間もそばで見守っていてくれました。先生は「大丈夫です。骨には異常はないでしょう。一応、念のためコルセットを付けてください。」とおっしゃられました。その途端、思い詰めた母の表情がほつとしたようにゆるみ、私を包み込んでくれました。この時、何